

# 文献研究

## (先行研究の調べ方)

学会発表や研究論文を作成する際、必ず行うのが先行研究を調べる作業、通称「文献研究」です。文献研究の意義や方法を下記に示しますので、学会発表や研究論文作成の際、参考にしてください。

### 1. 文献研究の意義・目的

文献研究の目的は、発表テーマに関しての知識や情報を増やして、理解を深めることです。これまでに自分の発表や研究テーマに関してどんなことが研究されており、どんなことが発見され、今後どんなリサーチが必要かといった情報を入手することができます。また、データの収集方法、リサーチデザイン、分析方法などについて、自分の参考となる情報も得られるでしょう。

### 2. 文献研究の方法

文献研究の手順とツールの一例を紹介します。(ここに記述してある方法が全てではなく、文献研究について、ご自身で深く学習する必要があります。)

#### ① インターネット

「Online Public Access Catalog (OPAC)」という、膨大な文献資料を有する大学図書館や、国立情報学研究所 (NII、National institute of infomatics) が運営する、「CiNii」という学術論文や図書・雑誌などを検索できるデータベース・サービスを利用するのはとても有効な方法の1つです。また、医療の分野では、アメリカ国立医学図書館の国立生物工学情報センター(NCBI)が運営する医学・生物学分野の学術文献検索サービス、「Pubmed」や、社会科学の実証研究を紹介する「The Campbell Collaboration」などからも、様々な情報を得ることが可能です。

#### ② 研究・学会誌

研究・学会誌は、ご自身が所属されている会より入手することが可能かと思います。そこで取り上げられている論文も参考にされるのがよいと思います。学術団体である日本医療社会福祉学会「医療社会福祉研究」や、(公社)日本医療福祉協会が年に3回発刊している「医療と福祉」でも一般論文が取り上げられています。同じ分野の研究としてとても重要な情報を手に入れることが出来るでしょう。

### 参考文献

- 武田丈 (2004). 「ソーシャルワーカーのためのリサーチ・ワークブック」. ミネルヴァ書房.
- 平山尚・武田丈・藤井美和 (2002). 「ソーシャルワーク実践の評価方法：シングル・システム・デザインによる理論と技術」. 中央法規出版.
- 平山尚・武田丈・呉裁喜・藤井美和・李政元 (2003). 「ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法」. ミネルヴァ書房.
- 岩田正美・中谷陽明・小林良二・稲葉昭英 (2006) 「社会福祉研究法—現実世界に迫る 14 レッスン」. 有斐閣アルマ.
- Rubin,A.,& Babbie,E. (1997). Research Methods for Social Work (3<sup>rd</sup> ed). Pacific Grove, CA:Brooks/Cole.